

# 許可申請書 携帯用プロパンガス機器



ポートランド 消防救助  
消防保安局オフィス  
1300 SE Gideon St.  
Portland, OR 97202-2419  
電話：503-823-3712  
ファックス：503-823-3925



各場所／ブースに対し許可書を1つ取得しなければなりません。  
許可に係る料金は年間35ドルです。

## 許可申請方法：

- 本申請書を記入の上、料金と一緒に提出してください。料金の支払いがない場合、許可書は発行されません。
- 記入した申請書および料金35ドルを以下に郵送するか、直接提出してください。  
1300 SE Gideon St., Portland, OR 97202 (小切手の振り出し先：「ポートランド市会計係」)  
窓口業務時間：月曜日 - 金曜日 午前8時00分 - 午後3時30分
- 申請書は [pfrpc@portlandoregon.gov](mailto:pfrpc@portlandoregon.gov) にEメールで提出することも可能です。提出後に電話をかけて、クレジットカードで支払いを行ってください。

以下の情報を記入し、本申請書裏面の要件をお読みください。  
条件に従わない場合、許可書が無効となるか召喚状が発行されます。

運用の種類：  プッシュカート／スタンド  移動式屋台  フェスティバル／イベントブース  
 その他（具体的に記入してください）： \_\_\_\_\_

申請者名： \_\_\_\_\_

商号： \_\_\_\_\_

事業主： \_\_\_\_\_

郵送先住所： \_\_\_\_\_

連絡先電話番号： \_\_\_\_\_

装置が運用される場所： \_\_\_\_\_

(イベント名またはカート／移動式屋台を設置する場所の住所)

私は、本用紙裏面の要件を読み、理解した上で、要件に従います。また、この場所で働く従業員に全ての情報を提供します。私は、これらの要件に従わない場合、許可の取り消しとなるか、召喚状が発行される場合があることを理解しています。

署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_

目につきやすい場所に許可書を掲示してください。

オフィス使用欄	
日付： _____	許可番号： _____
現金 <input type="checkbox"/>	請求書#： _____
受領書#： _____	
受領元： _____	
許可書発行元： _____	

# 携帯用プロパンガス燃料機器使用の必須要件

プロパンガスを使用する全販売業者は、最新のプロパンガス許可書を、各ブース／カートの目に見える場所に掲示しなければなりません。

掲示できない場合、操作者は要求により入手可能なプロパンガス許可書を機器の設置場所に用意しておかなければなりません。

1. 携帯用プロパンガス燃料機器を操作する各場所には、**2A-10BC 定格以上の消火器 1 つ**を必要とします。調理でてんぷら鍋または $\frac{1}{4}$ インチ以上の食用油または料理油が入った機器を使用する場合、**K クラスの消火器**を持っていることが義務付けられます。**全ての消火器**は、公認消火器会社から毎年点検を受けており、最新の札があるものでなければなりません。
2. プロパンガス・シリンダーは、建物や囲われた建造物内で保管してはいけません。タンクは、カートの外で、通気性のある場所に設置しなければなりません。
3. 電気器具を使用していない時や、シリンダーの交換時は、電気器具への燃料供給をシリンダーで止めなければなりません（電気器具で止めるだけでなく）。
4. 全ての装置は過剰な加熱を避けるため、炎または火花が生じる機器から離して設置しなければなりません。電気器具と可燃物との間には、少なくとも 1 フィートの間隔がなければなりません。
5. 燃料システムに使用される全装置および電気器具は、プロパンガスの使用が承認されていなければなりません。
6. 全ての装置は物的損傷から保護されなければなりません。
7. 全てのバルブは、容易に使用できるものでなければなりません。
8. 操作中に炎が見えない電気器具は、自動停止装置を装備していなければなりません。
9. 販売カート／屋台の燃料は、2 週間分の供給量（最大 25 ガロン・シリンダー 2 本）に限るものとします。
10. 全ての装置は設計とおりに使用されなければなりません。
  - 垂直使用に設計されたシリンダーは、使用時に横にしてはいけません。
  - 5 ガロン用以上の大きさのシリンダーは、落下したり、倒れたりしないよう固定しなければなりません。
  - 調整弁が各シリンダーに取り付けられていなければなりません。ガス・マニホールドを使用する場合は、1 つの調整弁に 2 つのシリンダーを接続することができます。
  - 全てのシリンダーには、バルブ周りに保護カラーがあり、良く整備されていなければなりません。
  - 全てのシリンダーには最新の水圧試験日の印がなければなりません。
  - プロパンガス・シリンダーは、炭酸ガスシリンダーと一緒に縛ったり設置したりしてはいけません。
  - 全てのシリンダーには、過剰充填防止装置（OPD）が装備されていなければなりません。この装置が装備されていないタンクは許可されません。
  - 調整弁とプロパンガス・シリンダーの接続部にテープを使用しないでください。この接続部は金属同士が接触するように設計されています。
  - 調整弁、接続部、ホースが破損している場合は取り替えなければなりません。
  - 補給ライン同士を接合してはなりません。
  - 調整弁とマニホールドの間のホースは長さが 2 フィートを超えてはなりません。
  - 承認されたプロパンガスのクランプのみ補給ラインに使用することができます。アビエーション・クランプ、自動車用クランプ、その他の種類のクランプは使用できません。
  - 補給ホースの長さは電気器具をシリンダーに接続するのに十分な長さとし、それより長くはなりません。
11. プロパンガス燃料の**暖房器具**は、いかなる条件下であっても屋内使用では承認されるものではありません。これには、屋外使用を対象とするテントや建造物が含まれますが、これに限るものではありません。